

## 6 その他の震災関連事業

1から5までに掲げたものの他、平成23年3月11日(金)から平成24年3月31日(土)までに行った震災関連事業は以下の通りである。

### (1)国際交流・協力団体 東日本大震災に関する活動助成事業

福島県内に拠点を有し活動する非営利団体が行う震災復旧復興活動に対し、助成金を交付した。

- ・募集時期:  
(前期)平成23年4月23日～平成23年6月15日(3回に分けて締切・交付)  
(後期)平成23年10月4日～平成23年10月18日
- ・助成額:1活動上限10万円
- ・交付団体  
前期

NO	団体名	活動名	交付額
1	船と翼の会ふくしま	被災者支援活動	10万円
2	南相馬市国際交流協会	被災地南相馬市多言語くらし情報	10万円
3	NPO法人ふくかねっと	韓国の家庭料理を食べよう	10万円
4	いわき国際セラミックコーポレーション交流推進協議会	復興国際交流イベント『「陶芸」と「みんなともだちカラム」でがんばっぺいわき』	10万円
5	NPO法人ルワンダの教育を考える会	ルワンダコーヒーとクッキーサービス～マリールイスとの懇談会～	4万円
6	HAWAK KAWAY FUKUSHIMA	避難所でのカフェと炊き出し	6万円

### 後期

NO	申請団体名	活動名	交付額
1	会津若松市国際交流協会	2011 国際交流フェスティバル	10万円
2	南相馬市国際交流協会	被災地南相馬市多言語くらし情報	10万円
3	ふくしま子どもの日本語ネットワーク	「移動する子どもたち」の心のケアを考えるシンポジウム	8万円
4	にほんまつ地球市民の会	地球市民の集い『地球のステージ(震災編)』	10万円
5	HAWAK KAWAY FUKUSHIMA	仮設住宅でのフィリピンカフェの開催	5万円
6	HAWAK KAWAY FUKUSHIMA	タガログ語のニュースレター発行	2万円
7	NPO法人ふくかねっと	福島県復興ボランティア受け入れ事業	5万円

### (2)日本語教室巡回相談会

日本語教室に通う外国出身学習者を対象に、巡回相談会を実施した。

- ①外国にルーツを持つ子どものための土曜広場(福島市)
  - ・実施日:平成23年6月25日(土)
  - ・相談者:中国出身者2名、アメリカ出身者1名
- ②二本松国際交流ボランティア ざくざくねっと
  - ・実施日:平成23年7月10日(日)
  - ・相談者:中国出身者4名、アフガニスタン出身者2名

### (3)東日本大震災応援チャリティ国際理解講座



「ふくしまユースグローバルカレッジ2011」の第1回講座を公開講座とし、「震災と地球規模の課題」をテーマに、震災で起こったことを語り合う場とした。なお、会場に募金箱を設置し、募金協力をお願いした。

- ・実施日:平成23年7月9日(土)13:30～16:00
- ・参加者:高校生以上の県民38名

### (4)外国出身住民への情報提供のための携帯ラジオの配布

今後の災害に備えるため、NPO法人オックスファムからの支援品



である手動式携帯ラジオに、災害時のラジオの有効性の説明文を同封し、当協会多言語相談窓口案内シールを本体に貼付のうえ、大学や日本語教室等を通じて外国出身住民に配布した。

- ・配布時期:平成23年8月～9月
- ・配布台数:1,400台
- ・配布先:大学、日本語教室、同胞団体、JET青年等

### (5) 東日本大震災外国人住民支援活動シンポジウム

福島市で開催された(財)自治体国際化協会主催のシンポジウムにおいて、パネラーを派遣するとともに2日目の現地視察のコーディネートを行った。

- ・実施日:平成23年11月22日(火)~11月23日(水・祝)
- ・参加者:全国の行政及び国際交流協会等職員  
1日目約100名/2日目約40名



## 7 活用した助成金等

### (1) (財)自治体国際化協会の各種震災枠助成金(計1,733,954円)

- ①災害時外国人住民支援活動助成金
  - ・『外国語による地震情報センター』の開設に伴うサポーター活動経費として478,000円
  - ・携帯ラジオ配布事業の配布送料、テプラシール代等として55,954円
- ②地域国際化施策支援特別対策事業(東日本震災枠)
  - ・多言語による東日本大震災復興版ジャイロ「がんばろう福島」の発行に伴う印刷費、送料等として400,000円
  - ・放射線に関わる健康管理セミナーに伴う通訳者翻訳者謝金、講演録印刷費及び送料等として800,000円

### (2) 支援品等のコーディネート

- ①メッセージと小物(1箱)  
文部科学省からの依頼により、台湾の中学校から贈られてきた見舞い品を、福島市立立子山小学校に寄贈した。
- ②ペットボトルの水、レトルトごはん、韓国のみ(500セット)

在日本大韓国民団福島県地方本部からの依頼により、福島市国際交流協会を通じて、福島市に寄贈した。

#### ③靴下(100足)

当協会賛助会員からの依頼により、元伊達市在住スコットランド人の知人から贈られてきた靴下を、福島市立福島第一小学校に寄贈した。

#### ④ペットボトルの水(22万本)

新潟総領事館からの依頼により、香港のラジオ放送会社より贈られた水を、福島市に10万本、日本労働組合総連合会福島県連合会に6万本、その他在住同胞に6万本寄贈した。

#### ⑤手動式携帯ラジオ(1,400台)

多言語センターFACILを通じてNPO法人Oxformより寄贈されたラジオを、日本語教室や大学等を通じて県内在住外国人に配布した。

#### ⑥Tシャツ(約50枚)

アメリカの大学の日本人教員の依頼により、南相馬市国際交流協会を通じて仮設住宅の方々に配布した。

#### ⑦チョコレート菓子(400箱)

在日本大韓国民団福島県地方本部からの依頼により、福島県私立幼稚園協会を通じて浜通りの幼稚園に配布した。

## 8 関係機関(者)からの聞き取りの実施

発災当時、外国出身住民がどのようにして情報を収集したか調査するため、関係機

関(者)への聞き取りを実施した。その結果は、以下のとおりである。